

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設モニタリング票（評価対象年度:令和2年度）

施設の名称	名取市下増田児童センター
指定管理者の名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
施設所管部課（室）	健康福祉部こども支援課

1. 管理形態の推移 【施設所管課記入】

期 間	管理形態	指定管理者（管理受託者）	摘要
平成12年10月2日～平成26年3月31日 (H12.10～H20.3 関上児童センター分館) (H20.4～H26.3 増田児童センター分館)	直営		
平成26年4月1日～平成30年3月31日 (H26.4～H28.3 増田児童センター分館) (H28.4～ 下増田児童センター)	管理受託	特定非営利活動法人子育て応援団ひよこ (H29.8.3名称変更) 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ	
平成30年4月1日～	指定管理者	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ	

(注) 管理形態欄には、直営・管理受託・指定管理者の別を記入

2. 現指定管理者の概要 【施設所管課記入】

指定管理者の名称	名称	特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわ
	所在地	名取市みどり台三丁目19番地の4
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年0ヶ月）	
募集方法	公募 ・ <u>非公募</u>	

3. 施設の概要 【施設所管課記入】

施設の名称	名取市下増田児童センター
所在地	名取市美田園七丁目22番地の2
設置年月	平成28年4月（下増田児童センターとしてセンター化）
根拠条例等	名取市児童厚生施設条例、名取市放課後児童健全育成事業の設置及び運営に関する基準を定める条例、名取市放課後児童クラブ実施条例、名取市児童館管理規則、名取市放課後児童クラブ実施条例施行規則
設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにするため児童福祉法第40条に規定する児童厚生施設を設置する。
施設の内容	(旧館) 静養室、クラブ室①～③等 (新館) 交流室、クラブ室①～②等
開館時間	月曜日～金曜日：午前9時（小学校等休業日は午前8時）～午後7時
休館日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12/29～1/3）
指定管理者が行う管理運営業務	放課後児童クラブ業務、自由来館業務、地域子育て支援事業（一般型）、地域子育て支援事業（出張サロン）、地域活動クラブ業務、相談業務、各種行事及びクラブ活動の実施、自主事業の実施、児童センターだよりの発行（月1回、原稿等の企画構成）、小学校への長期休業時の利用周知
利用料金制度	採用の有無 有 ・ <u>無</u>
	利用料金の名称

4. 施設の利用実績 【指定管理者記入】

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
開催日数	247日	243日	252日	101.6%
延べ利用者数	29,620人	42,008人	47,827人	70.5%
利用者数 (人/日)	119.9人/日	172.9人/日	189.8人/日	69.3%
主な増減原因	集計表の様式変更と、新型コロナウイルスの影響で、令和2年3月から放課後児童クラブ以外の事業が休館となったことが影響している。			

(注) 対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入すること。

5. 管理運営の収支状況 【指定管理者記入】

(1) 収入

(単位：千円、%)

	評価対象年度 (A)	前年度 (B)	前々年度	評価対象年度の 対前年度比 (%) (A) / (B)
	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
指定管理料	38,860	33,360	32,901	116.5%
利用料金収入	-	-	-	-
その他	4,273	1,703	0	250.9%
収入計 (ア)	43,133	35,063	32,901	123.0%

(2) 支出

人件費	34,826	27,703	25,069	125.7%
施設管理費	2,356	1,663	2,014	141.7%
事業運営費	4,654	3,441	3,120	135.3%
その他	1,120	1,709	995	65.5%
支出計 (イ)	42,956	34,516	31,198	124.5%

(3) 収支

収支 (ウ) = (ア)				
- (イ)	177	547	1,703	32.4%
前期繰越収支差額	547	1,703	0	32.1%
次期繰越収支差額	177	547	1,703	32.4%

6. サービス向上や利用者数の増加等のために実施した主な取り組み 【指定管理者記入】

今まで経験したことのない未曾有の事態となり、利用者を増加は非常に難しい一年となった。乳幼児親子の来館については、遊具を個別に貸し出すこと、消毒を徹底することで、安心して遊びに来ていただける環境づくりを意識した。

小学生については、令和元年度に児童クラブ児童で構成した「子ども実行委員会」が、その活躍の場を広げ、「なりこどもファンド」に挑戦。名取市の特産品と姉妹都市の特産品を掛け合わせることで、新しいメニュー開発することに取り組んだ。あいにくの状況に苦戦したが、姉妹都市である和歌山県新宮市と、山形県上山市の子どもたちとの交流にこぎ着け、上山市の子どもたちとは、オンラインで直接交流の機会をもつことができた。

「コロナ禍でもいつものことを」を意識し、「こどもまつり」も「プレーパーク」も例年から形を変えて実施。イベントが軒並み中止になる中、大変喜んでいただくことができた。

7. 施設利用者の主な声やその対応状況 【指定管理者記入】

アンケートでは人数が多い中の子どもの対応について、評価していただいた。また、こどもファンドの取り組みに対しては「貴重な体験の場となっているので、活動の継続と広がりを期待する」という保護者の声をいただき、活動の意義を理解していただいていると感じている。

プレーパークでは「普段経験できない貴重な機会になっているので、ぜひ継続してほしい」「我が子の逞しさをこの場で初めて感じた」「大人もゆっくりした気持ちで過ごせ、我が子と余裕をもって向き合うことができる機会になっている」等児童センターを親で楽しんでいただけている声をいただいている。

放課後の時間の短さ、日常の繁忙の中で、親子ともにゆっくり過ごす時間の必要性を感じていると考え、感染対策の観点も含め、全て屋外を会場にし、昨年度2時間余りだったこどもまつりを5時間開催にしたり、暗くなるまで遊べる「プレーパーク」を実施した。その他、普段の遊びをじっくり楽しんでもらおうと、新たに「あそぼう会」を開催。乳幼児から大人まで同じ空間で一緒にゆっくり過ごしていただけたのではないかと感じている。

8. 施設の管理運営における課題 【指定管理者記入】

令和5年5月の公民館合築に向け、子どもの意見を「子ども会議」にて聞くことができた。子どもたちの願いは、中高生になっても、児童センターを利用したいと思っていることだと知った。現状では、中高生が遊びに来てくれた時に、過ごしてもらえるスペースが十分に確保できずにいる。新館になるまでに、子どもたちの気持ちが途切れないよう、足を運んでもらえるような環境づくりをしていきたい。

コロナ禍で、乳幼児利用が大きく減少し、関係づくりが遂行できなかった。昨年度出会えなかった親子と、今年度出会うよう、広報等に工夫をし、来館促進につなげたい。

9. 管理運営状況 【施設所管課及び指定管理者記入】

評価項目		着眼点	自己 評価	所管 評価
1. 実施 体制に 関する 評価	管理運営体制	管理運営に必要な人員配置、組織体制を整備している。	○	○
		業務に必要な職員研修や教育等を適切に行っている。	○	○
		各種管理記録を適切に整備、保管している。	○	○
	施設等の維持 管理等	施設、設備等の清掃、保守点検、修繕等を適切に行っている。	○	○
	安全対策	日常の安全管理や緊急時のマニュアル整備等の体制を整備している。	○	○
	個人情報の 保護	個人情報の管理を適切に行っている。	○	○
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	○	○
		市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	○	○
	法令等の遵守	特定の者に有利又は不利な取扱いをしていない。	○	○
		開館時間、休館日、使用許可等の運用が法令等に基づき適正に行われている。	○	○
その他、関係法令等が遵守されている。		○	○	
2. サー ビスの 内容や 水準に 関する 評価	指定事業の 実施	事業計画書等に基づき適切に事業を実施している。	○	○
		業務の再委託は事前に市の承諾を受け、委託先の業務を適切に管理している。	○	○
	自主事業の 実施	施設の設置目的に沿った自主事業を実施している。	○	○
	利用者の満足 度向上	利用者の満足度向上に向けた取組みを行っている。	○	◎
	利用者の苦情、 要望等の把握 とその対応	利用者アンケートなど、利用者ニーズの把握にむけた取組みを実施している。	○	○
		苦情、要望等について、受付窓口の整備や対応を適切に行っている。	○	○
	利用状況等	利用者数、稼働率等は、前年度実績や目標と比較し妥当な水準である。	○	○
3. 経営 状況に 関する 評価	収支状況等	事業計画書等に基づく妥当な事業収支である。	○	○
		経費の節減や使用料収入の向上に向けた取組みを行っている。	○	○
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	○	○

【評価の基準(目安)】

評価		評価の考え方
◎	(優良)	協定書や事業計画書等より優れた内容で管理運営を行った。
○	(良好)	協定書や事業計画書等に基づき適正な管理運営を行った。
△	(課題有)	協定書や事業計画書等を下回る内容であり、一部の業務に改善が必要である。
×	(要改善)	協定書や事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかったため、改善を要する。

※該当しない項目については、「―」を記入する。

10. 施設所管課の総合評価 【施設所管課記入】

施設利用者が多く、放課後健全育成事業を複数箇所で実施する中で、安全で安心な施設運営を継続していることが評価できる。また、施設利用児童の保護者との面談実施や、利用児童で構成される運営委員会の育成支援を行うなど、利用者のニーズを施設運営に活かし、不安を解消する工夫が見られるところも評価できる。
今後も利用者目線に立った事業展開とさらなる利用者の満足度向上に取り組むことを期待している。